

第94回関西学生陸上競技対校選手権大会

ロードの部：2017年4月20日(木) T&Fの部：5月10日(水)～13日(土) 於：長居

対校得点

<男子2部>

順位 大学名	1位 龍谷大	2位 びわすポ大	3位 摂南大	4位 大経大	5位 神戸大
総合得点	145	135	81	73	60
トラック	107	43	38	53	16
フィールド	30	76	40	3	23
混成	0	16	3	4	13
ロード	8	0	0	13	8

<女子>

順位 大学名	1位 立命館大	2位 大成蹊大	3位 武庫女大	...	13位 神戸大
総合得点	150	137	99		16
トラック	124	85	24		6
フィールド	26	52	54		10
混成	0	0	21		0

<男子>

種目	順位	氏名(学年)	R	記録(風)	備考
100m	1	水野翔太(3)	準予	10" 95 (+1.1)	自己新
		近藤佑哉(3)	準予	10" 97 (-0.2)	
	2	森山和友(4)	予	11" 21 (-0.1)	自己新
200m	1	水野翔太(3)	準予	22" 10 (-0.3)	DNS
	2	高柳正徳(2)	予	22" 44 (-0.4)	自己新
	3	近藤佑哉(3)	予		DNS
400m	1	八木健人(4)	予	50" 77	自己新
	2	植田悠貴(M1)	予		DNS
800m	1	植田悠貴(M1)	決 準予	1' 54" 16 1' 52" 99 1' 54" 87	
	8	川植大輝(4)	決 準予	1' 59" 81 1' 56" 17 1' 57" 33	
	2	南部慎(2)	準予	1' 58" 97 1' 56" 81	
1500m	1	柴田拓真(2)	予	4' 13" 33	自己新
	2	丸岡克成(M1)	予		DNS
	3	藤田竣也(4)	予		DNS
5000m	8	丸岡克成(M1)	決	15' 05" 62	
	3	桂翔太(3)	決	15' 45" 12	
10000m	1	平井大誠(2)	決	32' 15" 09	
	2	桂翔太(3)	決	32' 27" 92	
	3	佐久間啓(2)	決	33' 31" 58	
ハーフ マラソン	5	坂元亮介(4)	決	1° 09' 01	自己新,歴代8位
	6	平井大誠(2)	決	1° 09' 28	自己新
	8	桂翔太(3)	決	1° 09' 58	大学初
110mH	1	藤原雅志(4)	準予	15" 01 (+0.6) 14" 92 (-0.1)	自己新
	2	山口大地(2)	準予	15" 26 (+0.4) 15" 24 (+0.2)	
	4	宮崎晃一(4)	予		DNS
400mH	5	藤原雅志(4)	決予	53" 63 53" 45	歴代7位 自己新,西カレA.
	4	清水和輝(4)	予	54" 72	
	4	佐々木亮平(4)	予	54" 76	自己新
3000mSC	1	坂元亮介(4)	予	9' 29" 23	自己新 西カレB
10000mW	1	藤田竣也(4)	予		DNS
4×100mR	8	喜多(1)高柳(2) 森山(4)水野(3)	決	41" 53	
	8	喜多(1)高柳(2) 近藤(3)水野(3)	予	41" 57	

種目	順位	氏名(学年)	R	記録(風)	備考
4×400mR	8	八木(4)高柳(2)	決予	3' 18" 47 3' 14" 06	
		小山(3)植田(M1)			
走高跳	1	佐野孝(M2)	決	1m 90	
棒高跳	1	吉田峻一(M2)	決	4m 00	
	2	宮崎晃一(4)	決	3m 60	
走幅跳	4	永田遼(M1)	決	7m 18 (+0.1)	
	8	大塚健太郎(4)	決	6m 95 (-0.4)	
	4	瀧瀬祥良(4)	決		DNS
三段跳	2	永田遼(M1)	決	15m 20 (+1.6)	自己新
	8	神田実(2)	決	14m 53 (-0.2)	
	4	瀧瀬祥良(4)	決	14m 27 (±0.0)	
砲丸投	7	吉田峻一(M2)	決	11m 77	自己新
	8	上野環太(4)	決	11m 41	
	3	太田康介(3)	決	10m 22	
円盤投	3	上野環太(4)	決	40m 23	
	2	吉田峻一(M2)	決	34m 52	
やり投	1	上野環太(4)	決	52m 78	
	2	太田康介(3)	決	50m 66	
十種競技	2	宮崎晃一(4)	決	6175点	
	3	吉田峻一(M2)	決	6103点	自己新

【主将 瀧瀬祥良】

結果としては目標としていた男子総合1部昇格、女子総合30点はどちらも達成することが出来ませんでした。男子については5位60点で、昨年の6位64点を順位ではわずかに超えることが出来たものの得点については下回る結果となりました。私を含め、ランキング上位に位置していた種目について棄権が多かったこと、出場した選手についても怪我や授業の都合等万全でない者も少なくなかったことなどが要因と考えられますが、なによりこの関西インカレまでにつけてきた実力がチーム全体として大きく足りなかったということがこの結果を生んだ主たる原因であり、それは女子についても同じであると思います。結果こそが全てである陸上競技においては非常に

残念な大会であったと言わざるを得ません。ですが、目標に対して明らかに実力の足りないチームがどのようにすれば達成に近付くのか、その方法的なものについては、この1年間相当な時間と労力をかけてきましたし、結果として現れたもの以上に集団としてのレベルは上がったはずで。来年はまず関西インカレに出場できる人数を増やすこと、そして持っている実力を確実に発揮することを前提として、チームの力で目標達成に到達して欲しいと思います。1年間できることは全てやってきたつもりでしたが力が及ばず、個人的にも後悔の残る大会となってしまいました。来年度も苦しい戦いになることは確実ですが、ここ数年2部から抜け出せない神戸大学陸上競技部に何らかの光明が見出せるよう後輩達には力を尽くして頂きたいです。末筆になりましたが応援に駆けつけて下さったOB・OGの皆様方、本当にありがとうございました。結果でお応えすることが出来ず申し訳ございません。今後とも御指導、御鞭撻の程どうか宜しくお願い致します。

は感謝してもしきれません。次は末廣に女子主将をバトンタッチしますが、末廣らしく明るく元気にみんなを引っ張って欲しいなと思います。最後になりましたが、ロードも含め5日間本当にたくさんの方の応援ありがとうございました。OB・OGの方が私たち現役部員のことを気にかけてくださっているのがよくわかりました。これからも頑張っていきますので応援よろしくお願い致します。

入賞者コメント



【800m3連覇 植田悠貴 (M1)】

800mと4×400mRに出場しましたM1植田です。春先に体調を崩し、関西インカレに対する不安がありましたが、800mでは3連覇、4×400mRでは決勝進出を無事達成でき、安心していきます。この勢いのまま今後の試合も精進していきたいと思っています。



【三段跳2位、走幅跳4位 永田 遼 (M1)】

学部一年生の頃からずっと怪我でまともに出られなかった試合だった為、今回四年ぶんの雪辱を晴らす事が出来ました。少々悔しい思いもしましたが、自己ベストも出せて十分満足しています。今までありがとうございました。

<女子>

種目	順	氏名(学年)	R	記録 (風)	備考
200m		森下奈菜(4)	予	26" 94 (+0.6)	
800m	4	明瀬優香(4)	決	2' 16" 56	
			準	2' 14" 49	
			予	2' 15" 80	
		宮崎安奈(2)	予	2' 33" 54	
1500m		甲斐麻華(2)	予	4' 55" 21	自己新
100mH		森下奈菜(4)	準	14" 39 (+0.5)	自己新歴代3位
			予	14" 25 (+1.1)	全カレB,個人選
				宮崎仁美(4)	予
400mH		野口ひかり(2)	予		DNS
10000mW	8	福田菜月(2)	決	★53'09"56	自己新 学内新 西カレA
4×100mR		武村(2)森下(4) 日高(2)宮崎(4)	予	49" 39	
4×400mR		武村(2)明瀬(4) 森下(4)宮崎(4)	予	4' 01" 40	
走高跳	5	日高水樹(2)	決	1m 72	
走幅跳		武村明香(2)	決	5m 57 (-0.6)	
三段跳		武村明香(2)	決	11m 79 (-0.7)	
砲丸投	3	麓沙恵(4)	決	★13m 63	自己新 学内新
円盤投		麓沙恵(4)	決	35m 98	

【女子主将 麓 沙恵】

関西 IC が終了し、女子が目標としていた総合 30 点を達成することは出来ず 16 点という結果に終わりました。しかし、得点圏外だった 800m、10000mW、走高跳の選手が入賞するなど鳥肌が立つようなパフォーマンスを多く見ることができました。私が女子主将になってからは「女子というチームで戦うこと」を大切にして取り組んできました。男子に比べ人数が少なく、中々一緒に練習は出来ませんが全員で目標を共有し、努力してきました。結果として目標は達成出来ませんが、1年かけて女子部員全員で戦えたこと、本当に嬉しく思います。ついてきてくれた部員に



【十種競技 2位 宮崎晃一(4)】

まずは、関西インカレで個人、団体ともに結果を残すことができなかつたことを残念に思います。個人としては怪我もあり調子が上がらないまま迎えた今大会でしたが、もっと記録を出すことができたはずでした。しかし、実力不足と気合い不足により目標としていた記録に届かずとても残念です。怪我をも凌駕する心と身体を身につけようと思います。このまま終わるわけにはいかないので、残された期間で最善を尽くし、全日本インカレ標準Aを切り本番で大ベスト更新できるよう頑張っていくと思います。全体としては自己ベストを出す人間も多くみることができ、その点では良かったと思います。それであっても2部ですら全く力及ばないという現状を今まで以上に重く受け止め底上げ、変革を起こして欲しいと思います。自分を含め故障者、棄権が多かつたことも残念に思います。もっとこの大会にかける意気込み、気合があればこの事態を防ぐことができたかもしれません。今年の学年でも何も変わらず、何もしえなかつたことに自分自身多少の責任感を感じます。ここ数年いいバトンを次の代に繋ぐことは出来ていません、これまでのバトンは1回ここで捨てて全く新しい「神戸大学陸上競技部」として「勝てる組織」にいつの日か生まれ変わることが出来る日が来ることを楽しみにしています。

【十種競技 3位、砲丸投 7位 吉田竣一 (M2)】

今年は十種競技、砲丸投、円盤投、棒高跳に出場し、結果は順に3位、7位、15位、11位でした。今年の関西インカレは練習を積んだ上で望むことが出来ただけに、メインの十種競技で表彰台に上がることが出来ましたが、記録には満足いきませんでした。他の単独種目でも奮わず、普通の人で終わってしまいました。部としても、僕がいるうちに1部に上がれなかつたことが悔やまれます。僕自身はもう少し競技を続けるつもりです。6年間お世話になりました。ありがとうございました。



【円盤投 3位、砲丸投 8位 上野環太(4)】

ロードの部と合わせて5日間応援ありがとうございました。今年は砲丸投、円盤投、やり投に出場させていただきました。十種競技もエントリーしていましたが、シンスプリントのため欠場させていただきました。砲丸投は今年の8位ラインが低く、運良く8位入賞したという感じでした。6位の選手と1m以上も差があり実力差を痛感したので、鍛え直して来年は13mと3位以内を目標に頑張ります。円盤投は調子が良かったので40m台を確実に投げて3位入賞できました。今年は8位が38m42と例年に比べハイレベルな闘いでしたが、応援の力のおかげで競り勝つことができました。記録には満足していないので、個人選手権標準の46mを目標に着実に力をつけていこうと思っています。やり投は腰痛のため思ったように体が動きませんでした。今年の4月に関西インカレA標準は切っているの、焦らずに基礎の部分から見直していき、60mを安定して投げられるようにしていきたいと思っています。今年の関西インカレの結果から分かるように、得点する人数を増やすことが大事だと思ったので、下級生の投擲を育成して来年は複数の入賞者を出せるよう頑張ります。



【砲丸投 3位 学内新 麓 沙恵 (4)】

砲丸投と円盤投に出場させて頂き、砲丸投では自己ベストで3位入賞という結果を収めることが出来ました。すごく遠いと思っていた表彰台に乗ることが出来て、今までの努力が報われたような

気がしました。去年はベスト8にも残ることが出来ず悔し涙を流しましたが、今年は表彰台の上で嬉し涙を流す事が出来ました。私がここまでこれたのもたくさんの方に支えられてきたからです。応援本当にありがとうございました。日本インカレでも結果を残せるようにまた頑張っていきます。



【800m 4位 明瀬優香(4)】

マイルと800mに出場させていただきました。マイルに関して、チームとしては直前にメンバー変更があったこともあり、約1年間マイルチームを引っ張ってきた身としては目標を達成できず残念です。個人としては自己最高のラップで走ることができ、いい流れで翌日以降の競技につなげることができました。800mに関しては、昨年決勝に進めなかった悔しさをもってこの1年取り組んできたので、ひとまず決勝に進めたことは良かったです。しかし展開によっては表彰台も狙えた決勝のレースで、4位という結果に終わってしまったことは悔しさが残ります。関西インカレはこれで最後になりましたが、全カレ出場へ向けてまた取り組んでまいりますので応援よろしく願います。

や関カレにかける思いも少しは感じてもらえたのではないかと考えています。ただ、一部昇格の目標にはほぼ力になれていないこと、一番力を入れてきた110mHで決勝に残ることが出来なかったことは悔しかったです。これからも競技を続けるので精進していきます。ありがとうございました。



【ハーフマラソン】

【5位 坂元亮介(4)】

ラスト2秒が足りずに本当に悔しい思いをしました。もう次の関カレはありませんがまだまだ強くなれるとは思いますが最後の駅伝のため、この悔しさをバネに頑張りたいと思っています。今まで応援してくださった方々、もうしばらくよろしく願います。

【6位 平井大誠(2)】

ハーフと10000mに出場させていただきました。ハーフではしんどいところで粘ることができ、目標だった8位入賞することができました！応援の力が大きかったです。ありがとうございました！10000mでは、ハーフの疲労が残っていた中でのレースで8位入賞を目指して走りましたが垂れてしまいました。まだまだ実力不足でした。しっかり実力をつけて来年は入賞を目指したいです。応援、サポートしてくださった方々、ありがとうございました。

【8位 桂 翔太(3)】

ハーフマラソン、5000m、10000mに出場させていただきました。ハーフマラソンでは一点獲得することができましたが、トラックでは情けない走りをしてしまいました。今回の経験を生かし、来年は幹部として部の目標と個人の目標をともに達成できるようチーム一丸となり切磋琢磨していきます。ご声援ありがとうございました。



【400mH 5位 藤原雅志(4)】

110mHと400mHに出場させていただきました、4回生の藤原です。最終的な結果としては、400mHで決勝に残り最低限の役割は果たせたのかなと思っています。また、後輩に4回生の意地



【走高跳 5位 日高水樹(2)】

走高跳に出場し、1m72の自己ベストタイで5位に入らせていただきました。スタンドでたくさんの方が応援してくださりととも力をいただきました。こんなにも楽しい試合は久しぶりでした。ありがとうございました。まだまだ私はこれからなのでもっともっと頑張っていきます!!!

果敢に攻めた結果なので悔いはありません。応援ありがとうございました。



【走幅跳 8位 大塚健太郎(4)】

入部当初からの目標であった7mを跳べると思っていたのですが、力が及びませんでした。絶対に入賞すると決めていたので、なんとか執念で8位には入れたことだけは喜びたいと思います。今までサポートしてくださったOBOG、部員の方々本当にありがとうございました。



【5000m 8位 丸岡克成(M1)】

5000mに出場させていただいた丸岡です。今年はシーズン明けから厳しい状態が続いていましたが、最後になんとか調子を取り戻し8位入賞できました。今後は駅伝に向けて練習を積み、秋頃にベストを出せるよう頑張りたいと思います。



【三段跳 8位 神田 実(2)】

今大会では、三段跳に出場させていただき、8位入賞という結果でした。とにかく、応援、サポート、OB、OGの方々など、たくさんの人に支えられていることを実感しました。同時に、それに存分に比べられない自身の力のなさも強く感じました。主力選手がごっそり抜けてしまいましたが、これからも強いフィールドパートありつづけられるよう、まずは自分が結果を出し盛り上げていきたいです。そして必ず強くなって、来年の関西ICで優勝し、雪辱を果たします。5日間本当にありがとうございました。今後ともご声援よろしく願いいたします。



【800m 8位 川植大樹(4)】

去年は準決勝で敗退してしまいましたが、今年は運も味方につけて、なんとか決勝に残ることができました。決勝では一点しか取れませんでした、



【10000mW 8位 福田菜月(2)】

10000mWに出場させていただきました二回の福田です。ランキング最下位から、3分半ベストを更新し、8位に入ることができました。応援の力を感じて、対抗戦の楽しさも味わいました。これからももっと頑張っていきます。応援ありがとうございました。



【4X100mR 8位 喜多-高柳-森山(近藤)-水野】

【1走 喜多(1)】

僕を含め、1年生がこの関西インカレで印象に残ったことはおそらく先輩たちのこの大会にかけの思いの強さだと思います。出場する選手はもちろん、彼・彼女らを鼓舞する集団応援、競技進行を円滑にする補助員、記録・ビデオ・選手の要望に笑顔で答えてくれるマネージャー、と部員全員が丸丸となつて試合しているなど感じました。そしてこれからはその思いを引き継ぎ1年生も部の原動力になれるように尽力して行きたいです。

【2走 高柳(2)】

200m、四継、マイルに出場させていただきました。200mは自己ベストでしたが、まだまだ力及ばずと言ったところでした。四継は決勝進出もでき、楽しんで走ることができました。マイルは予選でいいタイムが出せたものの、決勝で実力不足を実感しました。総じて、実力不足でしたが、速くなりたいと思いました。応援ありがとうございました。

【3走 森山(4)】

100mはB標準での出場ということで、10秒台で走り準決勝に進むことを目標にしていたのですが、60m付近から隣のレーンの選手を意識してしまいかなり力んでしまい思うような走りが出来ませんでした。自己新でしたが、予選敗退で悔しい結果になりました。4×100mリレーの決勝では、近藤が学科の関係で出られないということで、3走を走りました。走り自体は良かったのですがバトンミスをしてしまい8位でした。来年1秒短縮して優勝してくれることを期待しています。応援ありがとうございました。

【3走(予選) 近藤(3)】

100mと4×100mRの予選に出場させていただきました。100mは10秒台は出せたものの、目標としていた決勝には進出できず、力の無さを痛感しました。この一年で力をつけて、来年こそは決勝進出を果たします。リレーは決勝を授業の関係で走れず、チームに迷惑をかけてしまいました。しかし、予選はそこそこタイムが出ていたので今シーズン中に41秒切りを目指して練習をしていきます。来年の関西インカレは表彰台を狙います。応援ありがとうございました。

【4走 水野(3)】

100mでは自己ベストを更新することができましたが、改めて周りの競技レベルの高さと、自分の実力不足を痛感しました。4×100mRは、去年出場できなかった決勝に進出でき、大きく進歩したと思います。今のメンバーであれば表彰台も夢ではないと思うので、来年の関カレは表彰台に登りたいです。



【4X400mR 8位 八木-高柳-小山-植田】

【1走 八木(4)】

400m:自己ベスト(51"01)を憧れの舞台で更新できたことは嬉しかったが、目標であった49秒台からは程遠く、他大の選手とのレベルの違いも痛感した。決勝に残るにはやはりA標準(49"20)が最低条件であり、それにはなによりスピードがまだまだ足りないと感じた。4×400mR:1走を務めた。予選は甲南大、大阪国際大など格上校と同じ組で、前半から前のチームに食らいつくという目

標でいい流れで走ることができ、神大歴代5位のタイムで決勝に残ることができた。昨年までは短長パートから1人までしかメンバーではなかったが、今年は自分含め3人が走り、三年前の偉大な先輩方の二部優勝タイムまであと0.16と迫れたことが嬉しかった。決勝では3位と全カレ標準突破を目指したが、1走で自分が遅れをとってしまい、2走の高柳が先頭集団で走れなかったことで、タイムを大幅に落としてしまった。ラップタイムとしては1~3走の3人ともほぼ同タイムであったが、私が予選よりも速く走ってあげればあとの2人もさらに速いタイムで走ってくれたと思うので、本当に悔しかったし申し訳なかった。やはり400mのフラットレースをしっかりとA標準切るタイムで走れる選手が数人は揃わなければマイルの決勝では戦えないと感じたので、来年までに後輩達には400mでA標準切り3枚揃えて、その上でマイルで表彰台、さらには全カレ出場を狙ってもらいたい。多大なるご声援ありがとうございました。

[3走 小山(3)]

応援ありがとうございました。予選はすごく良い流れで走ることができ、タイムも良かったのですが、決勝では経験、実力共に不足していたため残念な結果に終わってしまいました。来年の目標として関西インカレ4×400mRでの優勝、そして日本インカレ標準突破に向け、これから練習を積み、悔しさを忘れずに頑張ります。

出場選手コメント

佐野孝(M2) 5回目の出場でした。入賞はできませんでしたが、関西ICは自分の競技への向き合い方を大きく変えてくれた大会でした。残りの期間は、来年こそ男子HJで入賞者ができるように、後輩と互いに高め合って頑張ろうと思います。

佐々木亮平(4) 400mHに出場させていただきました、4回佐々木です。決勝に進めず悔しい結果となりましたが、ずっと目標にしていた関西インカレで走れたことは一生忘れません。応援ありがとうございました。

清水和樹(4) 今回関西インカレ3度目の400mHに出場させていただきました。結果として去年の自分に勝ることが出来ず大変悔しく、応援して下さった皆様には申し訳なく思います。ただ、ここまで部活を頑張ってきたことは私自身とても意味のあるものだと感じました。応援ありがとうございました。

宮寄仁美(4) 100H・4×100mR・4×400mRに出場させていただきました、4回生の宮寄です。昨年秋からの怪我が長引き、不安要素しかない状

態でしたが、チームみんなの支えや応援のおかげで、なんとか乗り越えられました。女子総合30点の目標への得点貢献ができず個人としては悔しい結果でしたが、4継のチームベスト等、気持ちの面で良い雰囲気を作り出せることができていたならば幸いです。"チームで戦う"ことの凄さや大切さを、同期をはじめ、神大陸上部に学ばせてもらったことに感謝でいっぱいです。

森下奈菜(4) まずは応援やサポートありがとうございました。最後の関西インカレは、4年間で1番楽しかったです！個人の種目では、100Hで4年ぶりに自己ベストを出すことができました。正直、嬉しさ以上にホッとした気持ちが大きかったです。けれど、走り終わった後、多くの人が私の記録を喜んでくれ、声をかけてくれたことがとても嬉しく、頑張ってた良かったと心から思いました。準決勝では悔しさの残るレースとなりましたが、スタートラインに立てた今、ここからさらに記録の向上を目指していきたいと思います。リレーに関しては、まだまだ力不足でした。しかし、4継では目標タイムを大きく更新することができました。1人ひとりの力はまだまだ足りませんが、大きな舞台で今できる最高のパフォーマンスができたことはとても嬉しく思います。マイルに関しては、まずは出場させていただけたことに感謝しています。メンバーもギリギリの状況で、それぞれの調整も難しかったと思います。しかし、4人全員が全力で走り、最後までバトンを繋げることができました。400はきつかったです。最後走りきった後の達成感No.1でした。たくさんの応援、サポートがあったからこそ、私は最後の関西インカレを全力で楽しむことができました。本当にありがとうございました！

太田康介(3) 砲丸投とやり投に出場させて頂いた3回の太田です。応援ありがとうございました。砲丸投は十分に入賞のチャンスがあったのですが、思うような投げができず不甲斐ない結果に終わってしまいました。4回生、M2の方の最後の関西インカレに華を添えられず非常に悔しいです。個人としては来年が最後の関西インカレになるので、円盤投、やり投共に6位入賞、砲丸投は3位入賞を目標に日々精進して参ります。

甲斐麻華(2) 1500走らせていただきました。自己ベストで走れたのは良かったです。力の無さを痛感したのもっと努力します。来年はA標で出たいです。応援ありがとうございました。

佐久間 啓(2) 10000mに出場させていただきました二回生の佐久間です。授業などの関係で思うように練習ができない状況での出場となり非常に厳しい結果に終わりました。日々の積み重ねの重要さという陸上競技の基本を再認識させられる大会となりました。今後は駅伝でよい結果を残せるように精進してまいります。

柴田拓真(2) 今回 1500mに出場させていただきました。ランキングが下から 2 番目ということもあり、第一目標を自己記録更新、あわよくば決勝進出との意図でレースを運びました。最低限の目標としていた自己記録こそ達成したものの、決勝進出には程遠く自身の力の無さを実感しました。今回の試合で先輩方、同期、OB 様といった自分を支えて下さる人びとの力というものを強く感じました。来年この場にまた戻ってこることが出来るよう、誠心誠意努力し、決勝進出という目標を達成したいと考えております。

武村明香(2) 今回の関西 IC では、4 継、マイル、三段跳、走幅跳と 4 種目に出場させていただきました。4 回生の先輩方と出場できる最後の関西 IC でしたが、悔しさばかりの大会となってしまいました。チームで戦う楽しさを感じ、先輩方の活躍にわくわくし、自分の弱さを痛感した大会でした。この悔しさを糧により一層努力して次こそは笑顔で終えられるよう頑張っていきます。

南部 慎(2) 800m に出場させて頂きました。2 年生の南部です。今回の関西インカレは自滅してしまってなにもすることが出来ませんでした。本当に申し訳なく思っています。強い先輩方二人と一緒に出場させていただいて、自分に足りな

いものがまだまだ多く、力不足であったことが痛感させられました。この経験と悔しさをバネにし、中距離パートを引っ張っていくという自覚を持って、もっと強くなります。今後とも応援よろしくをお願いします。

宮崎安奈(2) 今回の関西インカレは自分自身の準備不足や練習不足がそのまま出た試合でした。たくさんの応援の中で競技をさせて頂いたのにも関わらず、このような結果に終わってしまっただけでなく、申し訳ないです。ですが、2 回生の内に関西インカレに出場でき、実際の試合を肌で感じられたのはこれからは繋がると思えますし、繋げていくために精進しようと思えました。夏の対校戦に向けて少しでもチームに貢献できるように、頑張ります。応援ありがとうございます。

山口大地(2) 今回の関西インカレでは 110mH に出場させていただきました。怪我の影響で試合直前までほとんど練習できてなくて、予選では後半ばててしまい、プラスでの通過となってしまいました。準決勝では脚の怪我により満足に走れませんでした。今回自分自身に足りないものがよくわかったので、来年こそ決勝に残るためにしっかり練習を積んでまいります。

ご声援ありがとうございました！！ (敬称略)

[新17]椎木茂久
[新56]西田 勇
[新64]田中 竣
[新65]野村美妃
[新65]大和祐己

[新18]平田明男
[新57]川田哲平
[新64]山本祥平
[新65]藤井まりあ
[新65]米田香澄

[新21]絹田清昭
[新57]篠原康男
[新64]飯田優希
[新65]藤田直輝

[新27]矢野 猛
[新62]日比鷹平
[新64]渡辺紗妃
[新65]藤森郁美

[新30]山本達男
[新63]永久実伽子
[新65]鈴木 藍,
[新65]村田一立